記者発表資料

令和８年１月２２日
庄内・社会基盤技術
フォーラム運営委員会

『第31回 庄内・社会基盤技術フォーラム』を開催します
～「産・学・官」共同の技術フォーラム～

庄内地方所在の「産・学・官」で組織する庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会では、庄内地方における土木・建築・環境技術の進歩及び技術者の資質向上を図るとともに、他地域への情報発信を目的に、「第31回庄内・社会基盤技術フォーラム」を開催します。

【庄内・社会基盤技術フォーラムの概要】

〈日　時〉　令和8年1月29日（木）13:30～17:15（受付開始13:00～）

〈会　場〉　酒田市公益研修センター 〒998-8589酒田市飯森山三丁目5番地の1
（東北公益文科大学キャンパス）

〈内　容〉 ○特別講演
「日本の土木官僚はどのような国土を描いてきたか　―港と河川で描く日本の国土構想―」
新潟大学 人文社会科学系 教授
稲吉 晃　氏

○事例・研究発表 21題、ポスター発表 6題（プログラムは別添）

【主　催】

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会
委員長：渡邉　一哉　山形大学農学部 教授
構成員：山形大学農学部、東北公益文科大学、鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校
鶴岡市、酒田市、国土交通省酒田河川国道事務所、国土交通省酒田港湾事務所
東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、(一社)酒田建設業協会、
山形県建設業協会鶴岡支部、庄内生コンクリート協同組合、
(株)庄内測量設計舎、前田製管(株)

【その他】

○参加費無料、事前申込不要、概要集は１冊５００円で販売いたします。
○(公社)土木学会の継続教育（ＣＰＤ）プログラムとしての認定を受け実施します。
発表者、受講者には(公社)土木学会よりＣＰＤ単位証が交付されます。
※CPD：Continuing Professional Development→継続的な専門能力開発

【発表記者会】　酒田記者クラブ、鶴岡記者会、山形建設業界専門紙

問い合わせ先

庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員会（事務局）

小池　禎一　0234-23-5110（前田ホールディングス(株)総務・人事グループ）
鈴木　裕志　0234-27-3494（国土交通省 酒田河川国道事務所　調査課長）
佐藤　隆二　0234-33-6314（国土交通省 酒田港湾事務所 先任建設管理官）
古川（こがわ）　和幸　0235-22-8772（東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所 工務担当課長）

13:30 ～ 13:35	**開会挨拶**　渡邉 一哉　庄内・社会基盤技術フォーラム運営委員長		【多目的ホール】
13:35 ～ 15:00	**特別講演　「日本の土木官僚はどのような国土を描いてきたか　-港と河川で描く日本の国土構想-　」** **稲 吉　晃　（新潟大学 人文社会科学系 教授）**		【多目的ホール】
15:00 ～ 15:10	休　憩		
	事例・研究発表（施工技術、環境、地域づくり）		
15:13 ～ 発表の 進行・説明	**Ａ会場【多目的ホール】** 司会：千葉 満也 （東北地方整備局 酒田河川国道事務所）	**Ｂ会場【中研修室１】** 司会：加賀谷 宏基 （東北地方整備局 酒田港湾事務所）	**Ｃ会場【中研修室２】** 司会：渡邊 仁夫 （東日本高速道路株式会社 東北支社 鶴岡管理事務所）
15:15 ～ 15:30	**松くい虫被害対応及び逆走防止対策について** ＜発表者＞ 加藤 大喜 （株式会社 ネクスコ・メンテナンス東北 鶴岡事業所 事業課）	**アユ養殖のための下水処理水を用いた珪藻類の選択的培養** ＜発表者＞ 丸山 陽大 （山形大学農学部）	**除草剤を活用した堤防植生管理の検証について** ＜発表者＞ 逸見 拓巳 （酒田河川国道事務所 河川管理課）
15:30 ～ 15:45	**赤川かわまちづくりについて** ＜発表者＞ 石川 春 （酒田河川国道事務所 赤川出張所）	**一般国道７号 朝日温海道路 小岩川第２トンネル工事における大規模な変状発生に伴う掘削、覆工コンクリート打設への影響及び対策について** ＜発表者＞ 齋藤 大夢 （酒田河川国道事務所 工務第二課）	**大型海藻の陸上培養に向けた効果的な下水道資源の活用方法の探索** ＜発表者＞ 森村 奈央子 （山形県立 致道館高等学校）
15:45 ～ 16:00	**土壌における薬剤耐性菌の伝播ポテンシャルの評価** ＜発表者＞ 明下 隼人 （山形大学農学部）	**高炉セメントB種にフライアッシュを混合した低炭素型コンクリートに関する一実験** ＜発表者＞ 齊藤 謙介 （前田製管株式会社 品質・安全管理部 係長）	**令和７年赤川花火大会における渋滞対策について** ＜発表者＞ 高橋 星哉 （酒田河川国道事務所 調査課）
16:00 ～ 16:15	**道路管理におけるSNSを活用した広報について** ＜発表者＞ 安達 翔 （酒田河川国道事務所 道路管理課）	**南東北地方に生息する野生動物が保有する薬剤耐性腸球菌の発生動向調査** ＜発表者＞ 鈴木 雅玖 （山形大学農学部）	**鶴岡市立朝暘第五小学校改築及び第五学区放課後児童クラブ新築事業** ＜発表者＞ 佐藤 旭 （鶴岡市 建設部 建築課 建築係 専門員）
16:15 ～ 16:30	**基地港湾整備における撤去ケーソンの活用について** ＜発表者＞ 佐々木 瑠偉 （酒田港湾事務所 保全課）	**障害対応のＤＸ化について ～ＷＥＢリセットブレーカの試験導入～** ＜発表者＞ 鈴木 竜成 （酒田河川国道事務所 防災課）	**機械学習を用いたサクラマスの個体識別手法の開発** ＜発表者＞ 鈴木 隆之輔 （山形大学農学部）
16:30 ～ 16:45	**除草における新技術の活用について** **～温水除草工法（温水で雑草の細胞を熱変性させる除草工法）～** ＜発表者＞ 瀬野 蹴音 （酒田河川国道事務所 酒田国道維持出張所）	**災害発生から復旧までの取り組み** ＜発表者＞ 松田 廉 （酒田市 建設部 土木課）	**災害復旧工事における課題と対応策について** ＜発表者＞ 小杉 柊真 （酒田河川国道事務所 飽海出張所）
16:45 ～ 17:00	**赤川中流域におけるサクラマス生息場を対象とした新たなセンシング方法の検討** ＜発表者＞ 白子 賢太郎 （山形大学大学院 農学研究科）	**流域治水を「自分事化」するために：防災教育と広報の連携** ＜発表者＞ 菅野 向希 （酒田河川国道事務所 流域治水課）	**生物共生型港湾構造物・ブルーインフラの創出** ＜発表者＞ 佐藤 一道 （セカンドリーフ 株式会社）
17:00 ～ 17:15	講 評：高橋 朋昭 （東北地方整備局 酒田河川国道事務所）	講 評：谷上 正晃 （東北地方整備局 酒田港湾事務所）	講 評：安齊 光美 （東日本高速道路株式会社 東北支社 鶴岡管理事務所）

	ポスター発表　　Ｄ会場【中研修室３】		
	河川水およびその底泥中からの薬剤耐性大腸菌の検出 ＜発表者＞ 宮崎 紗帆 （山形大学農学部）	**下水汚泥の濃縮分離液と電気透析濃縮液のダイズ栽培への活用** ＜発表者＞ 井筒 優 （山形大学農学部）	**庄内地域の野生動物由来大腸菌と腸球菌における薬剤感受性の比較** ＜発表者＞ 菅原 健聖 （山形大学大学院 農学研究科）
	常時微動観測による鶴岡市地盤の増幅特性に関する検討 ＜発表者＞ 高木 瞳 （山形大学農学部）	**コーヒー殻バイオ炭を用いた庄内砂丘周辺湧水の水質浄化** ＜発表者＞ 赤川 大 （山形大学農学部）	**小水域・小集落を対象とした新たな防災・避災システムの提案** ＜発表者＞ 西村 颯姫 （山形大学農学部）

庄内・社会基盤技術フォーラムについて（概要）

【目　的】

庄内地域の土木技術者のレベルアップと連帯感を高めることを狙いとして、産・学・官の土木技術者有志が連携し、研修及び交流の場を提供することにより、地域の土木技術者が新しい技術動向をとらえ、更に他地域への情報発信を目指すことを支援し、地域の発展に貢献することを目的とし、平成11年に設立。

【当フォーラムの構成員】

■山形大学農学部、東北公益文科大学、
鶴岡工業高等専門学校、酒田光陵高等学校、
鶴岡市、酒田市、
国土交通省　酒田河川国道事務所、
国土交通省　酒田港湾事務所、
東日本高速道路(株)鶴岡管理事務所、
(一社) 酒田建設業協会、
山形県建設業協会鶴岡支部、
庄内生コンクリート協同組合、
(株)庄内測量設計舎、前田製管(株)

【活動内容】

年1回、庄内・社会基盤技術フォーラムを開催

令和７年度(第３１回)の開催概要

■日時：令和8年1月29日（木）13:30～17:15
■場所：酒田市公益研修センター
■内容：●特別講演　　１題（13:35～15:00）
「日本の土木官僚はどのような国土を描いてきたか
―港と河川で描く日本の国土構想―　」
新潟大学 人文社会科学系
教　授　　稲吉 晃　氏

●事例・研究発表　２１題、ポスター発表　６題
（15:15～17:15）

令和６年度(第３０回)の開催状況



第30回 庄内・社会基盤技術フォーラム開催状況